

# ほけんだより



爽やかな風に新緑の青葉が揺れ、すがすがしさを感じる季節になり、外遊びを楽しむ元気な子ども達の声が聞こえています。新年度が始まり、あっという間に1ヶ月が経ちました。少しずつ新しい環境に慣れ、子どもたちの笑顔も増えたように感じられます。

5月は『皐月(さつき)』とも言います。由来には諸説あるといわれており、田植えをする月である事から「早苗月(さなへつき)」と言っていたものを略したという説、稻を植えることを古語で「さ」と呼び田植えの月という事で「さ」月となったという説、漢字「皐」には「神に捧げる稻」の意味がある為、皐月が当てられた説など、いずれにしても、皐月5月は、田の神様を奉じて田植えをする季節を意味しているそうです。保育園でも5歳児クラスでバケツ稻の栽培を取り入れています。これから成長が楽しみですね。

いよいよ大型連休が始まりますが、新年度からの緊張が緩む時期でもあります。疲れがたまって体調も崩しやすくなっていますので、子どもたちの様子をみながら無理のない計画を立てるようになると共に、事故やケガには十分気を付けて過ごしましょう。



## 感染症情報

感染性胃腸炎 4名



※乳児クラスを中心に、下痢症状を訴える子が目立っています。おむつ交換後、排泄後食事前の手洗いは丁寧に行いましょう。

※新型コロナウイルス感染症の第6波の流行以降、保護者の方からの家庭内感染だけではなく、園児(特に幼児)が単独で陽性となるケースも増えてきました。子ども(乳児を含め)に発熱・風邪症状が見られた場合にも、必ず医療機関を受診していただきますようお願い致します。また、送迎される方だけでなく、家庭内で体調不良の方がいらっしゃる場合には、登園前に必ずご相談下さい。

※2歳児以上のマスク着用についてですが、原則一律の着用は求めず、保護者の判断にお任せしております。但し、いずれの年齢におきましても、外遊び・午睡時はマスクを外させていただきます。外したマスクは、カバンの中にしまいますので、保管用の袋(ジップロック等)と替えのマスクのご用意をお願い致します。また、替えのマスクや不織布マスクにも必ず名前を記載して下さい。なお、2歳児以上のお子さんで咳の症状が目立つ場合には、マスク着用での登園をお願い致します。保育中、園の判断でマスクを着用させる事がありますので、ご了承下さい。

5月は過ごしやすいようでいて、実は熱中症に注意が必要な時期。まだ体が暑さに慣れておらず、熱中症になりやすいのです。さらに、子どもは身長が低く地面との距離が近いため、大人よりも高温の環境で過ごしています。体調の変化に周りの人が気を配ってあげることが大切です。

こんな様子はありませんか？



- 顔が赤くほてっている
- ひどく汗をかいしている

☆ゴールデンウィークも熱中症に気をつけて、楽しい思い出づくりを！

防ぐために

- ・水分補給をしっかりとる
- ・こまめに休憩をとる
- ・暑さに応じて脱ぎ着できる服装を
- ・屋外ではぼうしをかぶる



## シーズン到来！熱中症に気をつけて

### 子どもは蚊に刺されやすい？



蚊は、体温や、体が発する二酸化炭素を感じて人に近づき、血を吸います。体温が高く、活発な子どもは二酸化炭素を多く出すので、そのぶん蚊に刺されやすいのです。

#### 蚊に刺されたら…

すぐに冷たい濡れタオルや保冷剤で冷やすと、かゆみが和らぎます。刺された部分が大きく腫れてしまうお子さんもいます。搔き壊すと細菌が感染してとびひになってしまふこともあるので、虫刺され用の薬を塗るなど、刺された後のケアはしっかりと行ってください。



※虫刺されが増えてくる時期になりました。保育園では、外遊び前にあか組以上は『KINCHO お肌の虫よけプレシャワーDF ファミリーユース』を1回/日使用します。また腫れや痒みが強い場合は『ムヒ S』を塗布します。りす・ひよこ組は『手作りの虫よけアロマスプレー』をこまめに使用し、腫れや痒みが強い場合には『ムヒ・ベビーb』を塗布します。りす・ひよこ組は誤嚥防止の為、虫よけシールの使用はお控え下さい。

※今年度より歯科検診は、10月～11月頃に実施する旨北区から通達がありました。実施日が決まりましたら、改めてご連絡致します。

※細菌検査及び健康診断へのご協力ありがとうございました。結果は、健康カードにてお知らせしています。身体測定の結果と合わせて、ご確認、捺印の上、担任まで返却をお願い致します。また、健康カードがお手元に返却されましたら、予防接種欄の見直しを行い、新たに受けているものがありましたら、ご記入をお願い致します。